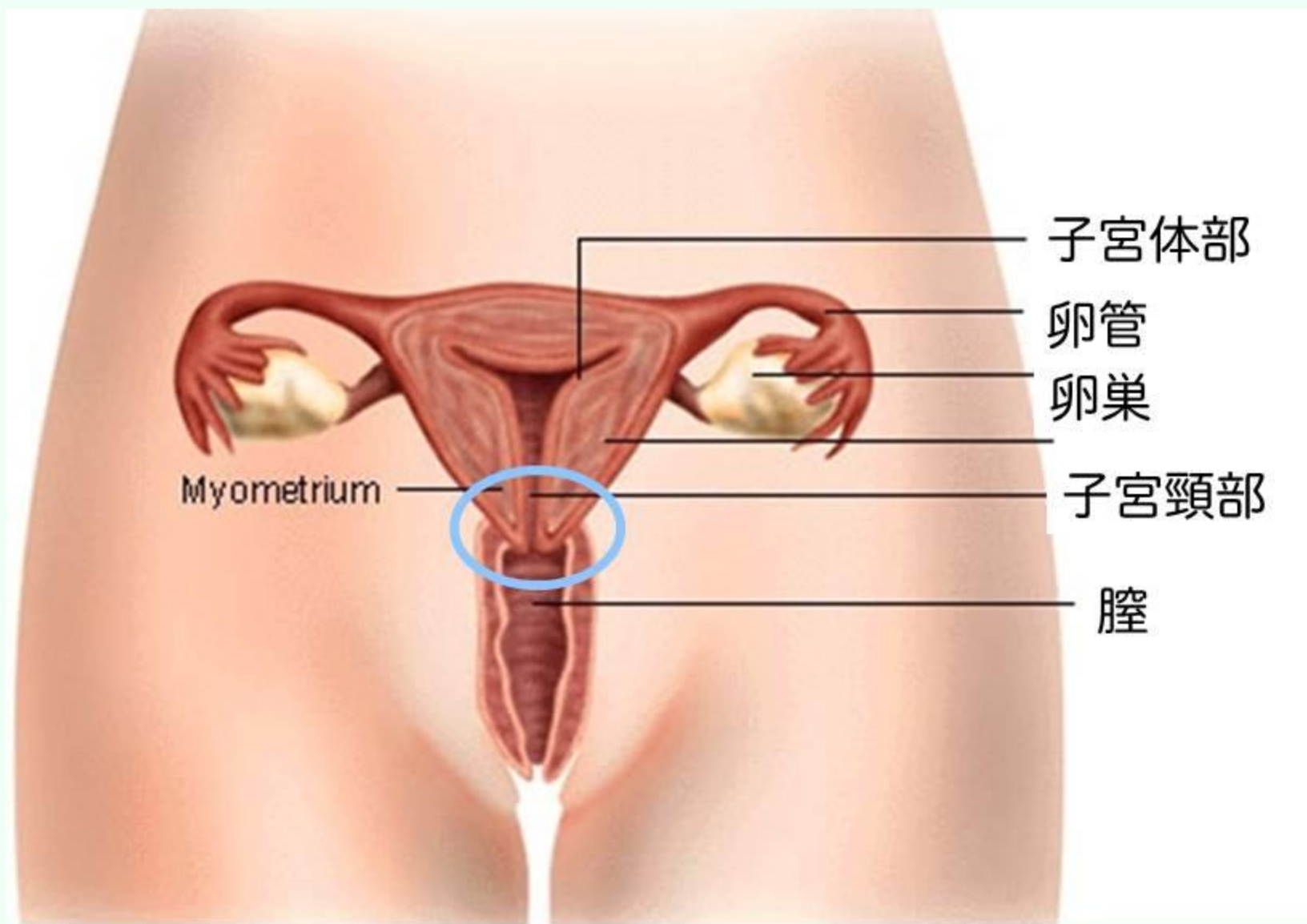


子宮頸がんから子宮をまもろう： ワクチンと検診で予防・早期発見！

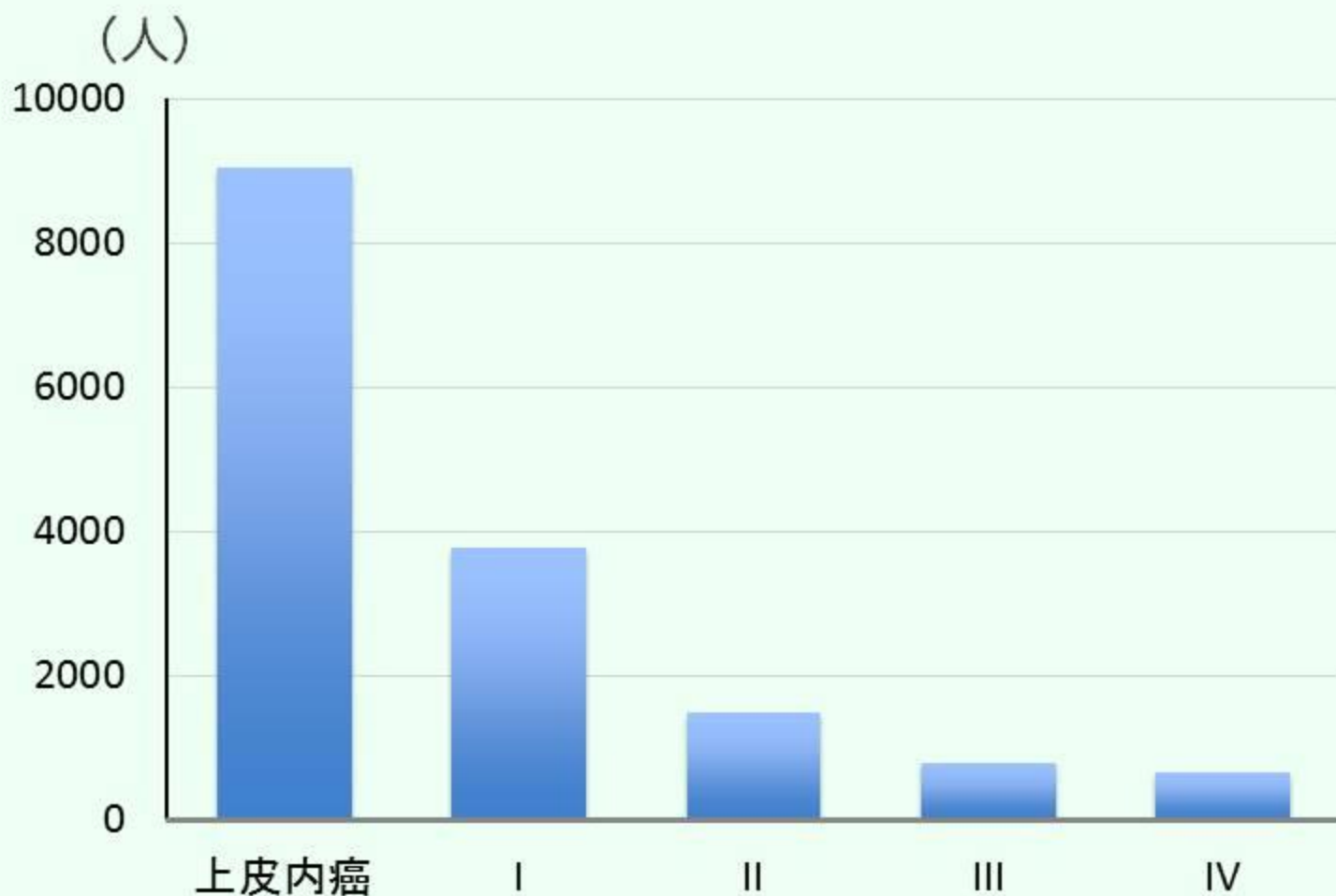
千葉大学大学院医学研究院生殖医学

三橋 暁



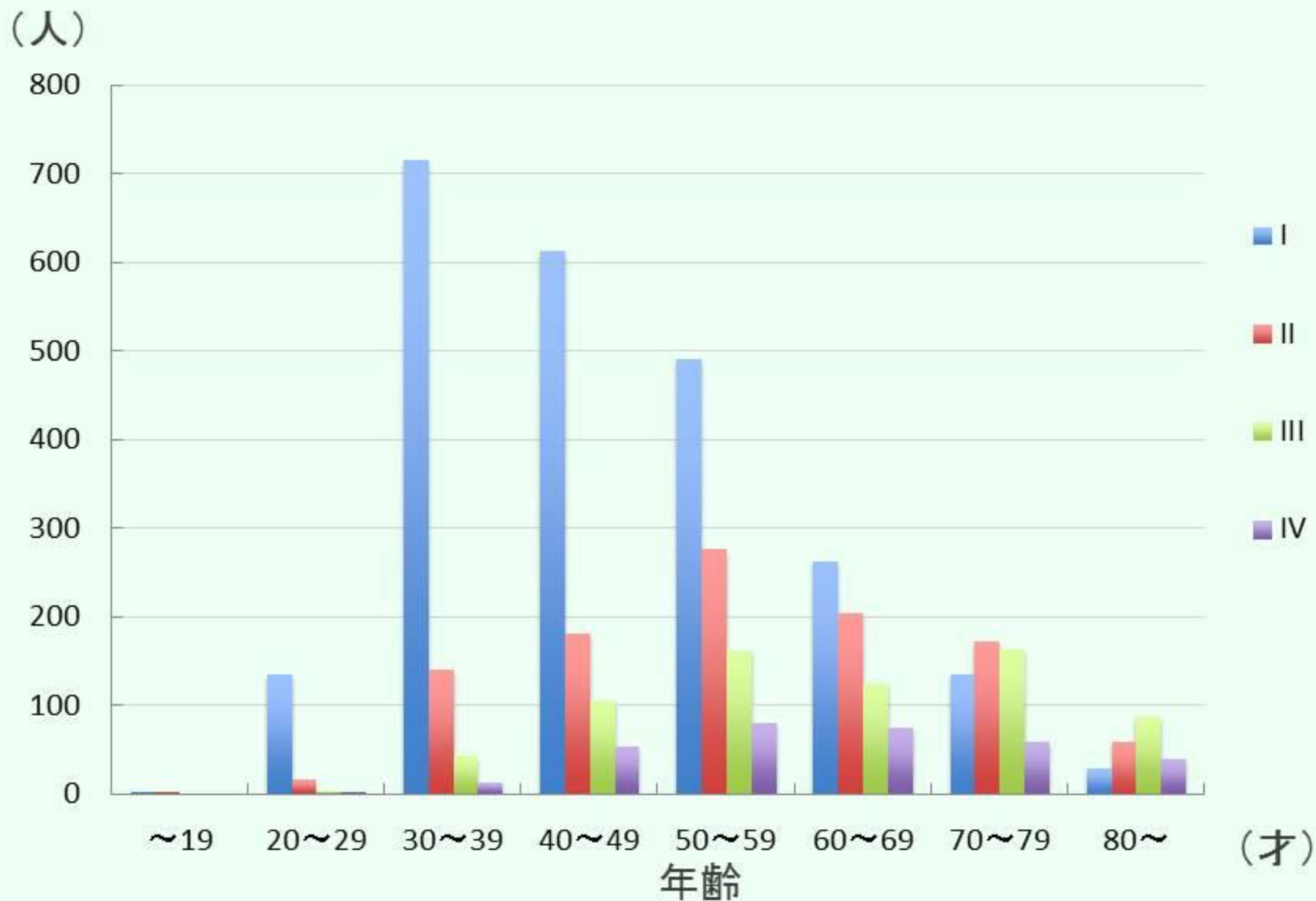
子宮頸がん

子宮頸部がん 発生患者数 (2011)

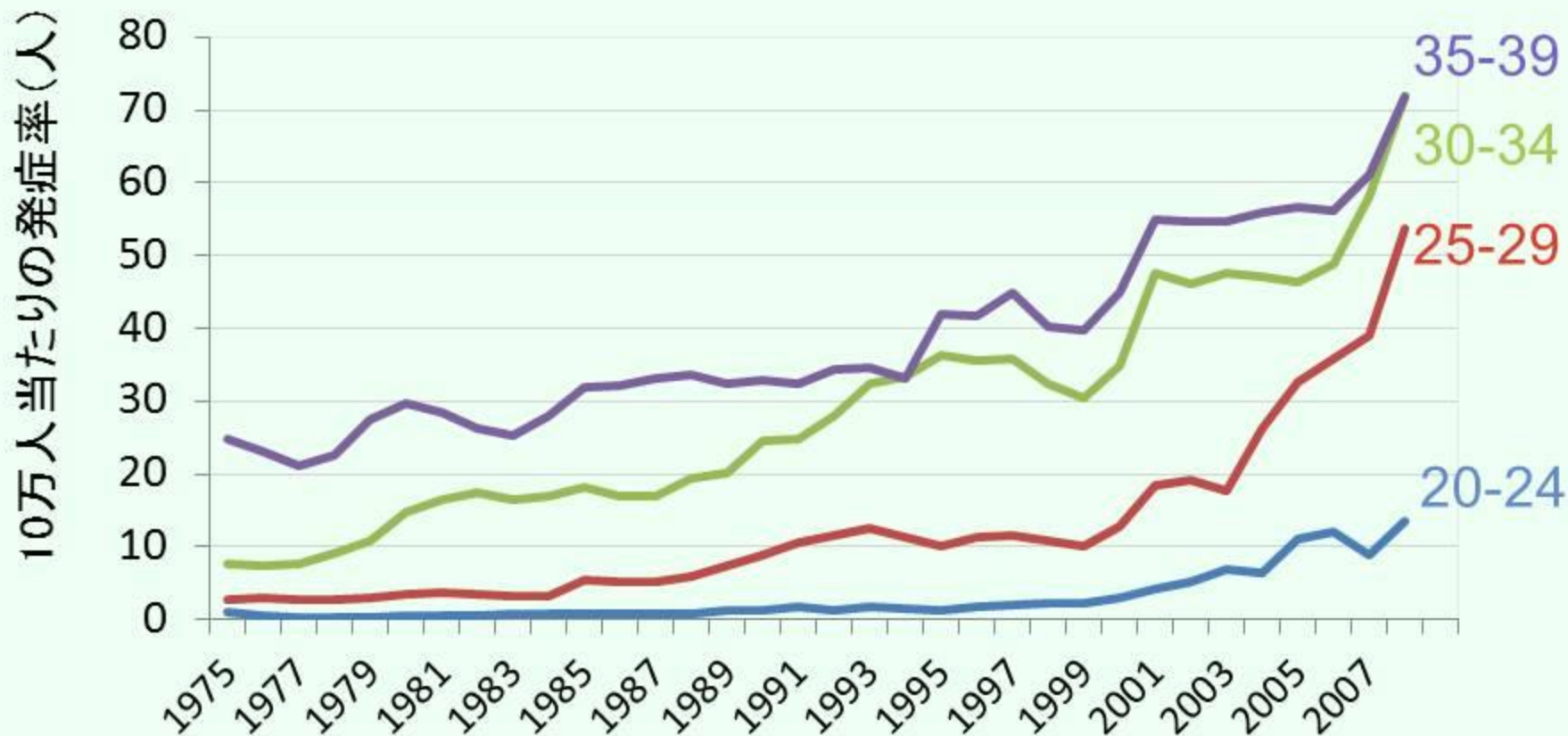


上皮内がんを含めると年間15000例発症
年間3000-3500人が死亡

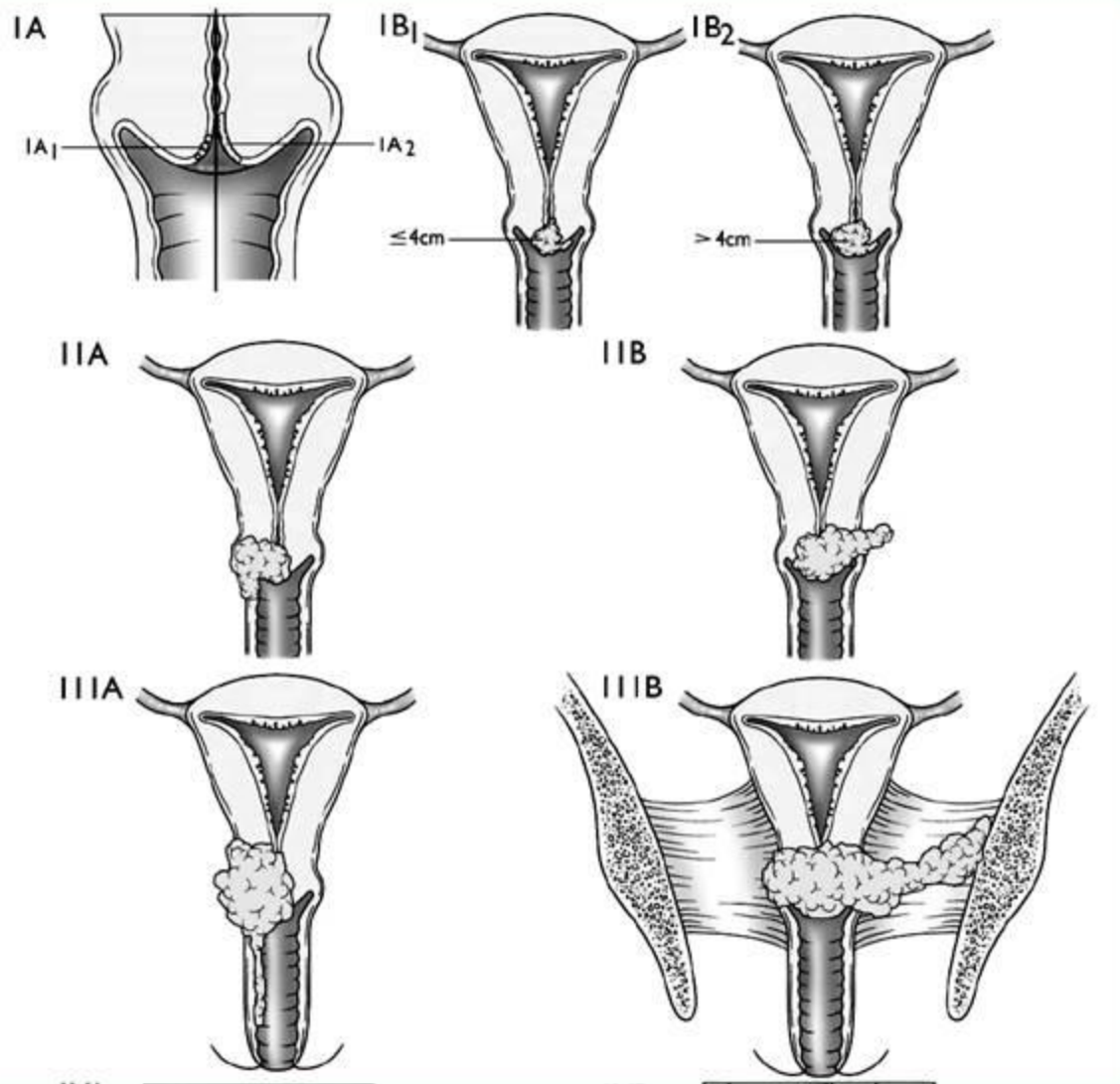
子宮頸部がん 年齢分布 (2011)



20-30歳代で頸がんは急増しています



子宮頸がんの進行期



上皮内癌



I期 がんが子宮頸部にどどまる



II-III期 がん子宮頸部をこえる



IV期 膀胱、直腸転移
遠隔転移

子宮頸がんの治療法

異型成
上皮内がん

1a1期

1a2期
1b期

2期

3期

4期

子宮頸部円錐切除
(診断、治療)

子宮温存

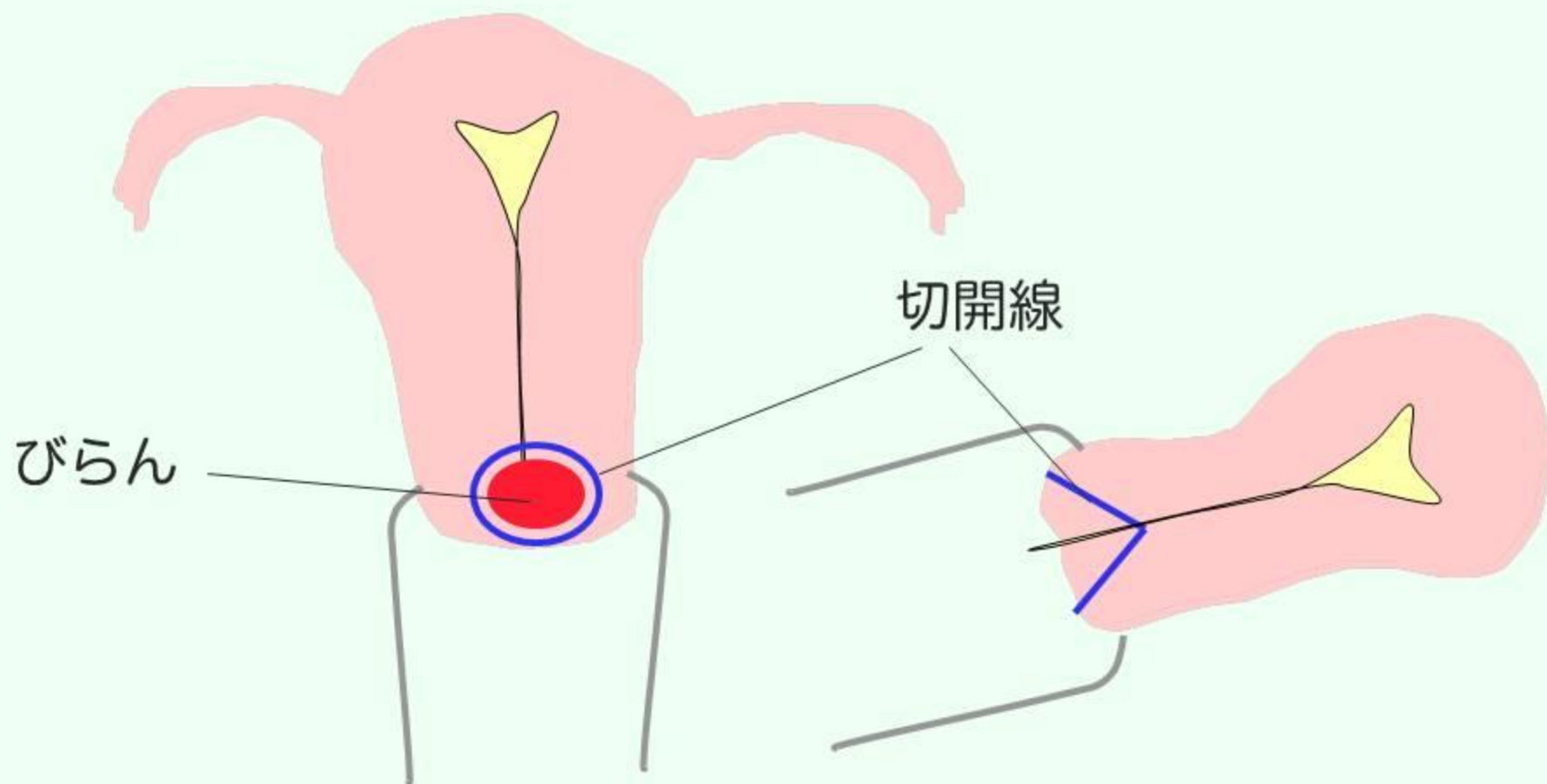
根治手術
(子宮全摘)

抗がん剤併用
放射線療法

抗がん剤治療

子宮を残すには、早期発見が重要です

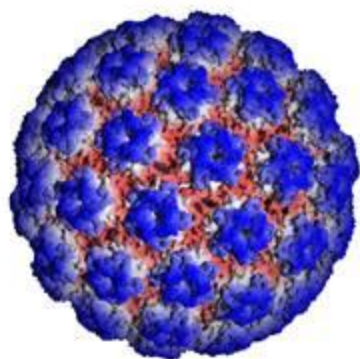
子宮頸部温存療法



外来で、局所麻酔下切除10-15分ほど
(千葉大)

子宮頸部がんの原因

ヒトパピローマウイルス(HPV)感染が主な原因



100以上の型

皮膚にいぼをつくる皮膚型

性器に感染する粘膜型（約40種類）

子宮頸部がんの約90%にHPV陽性

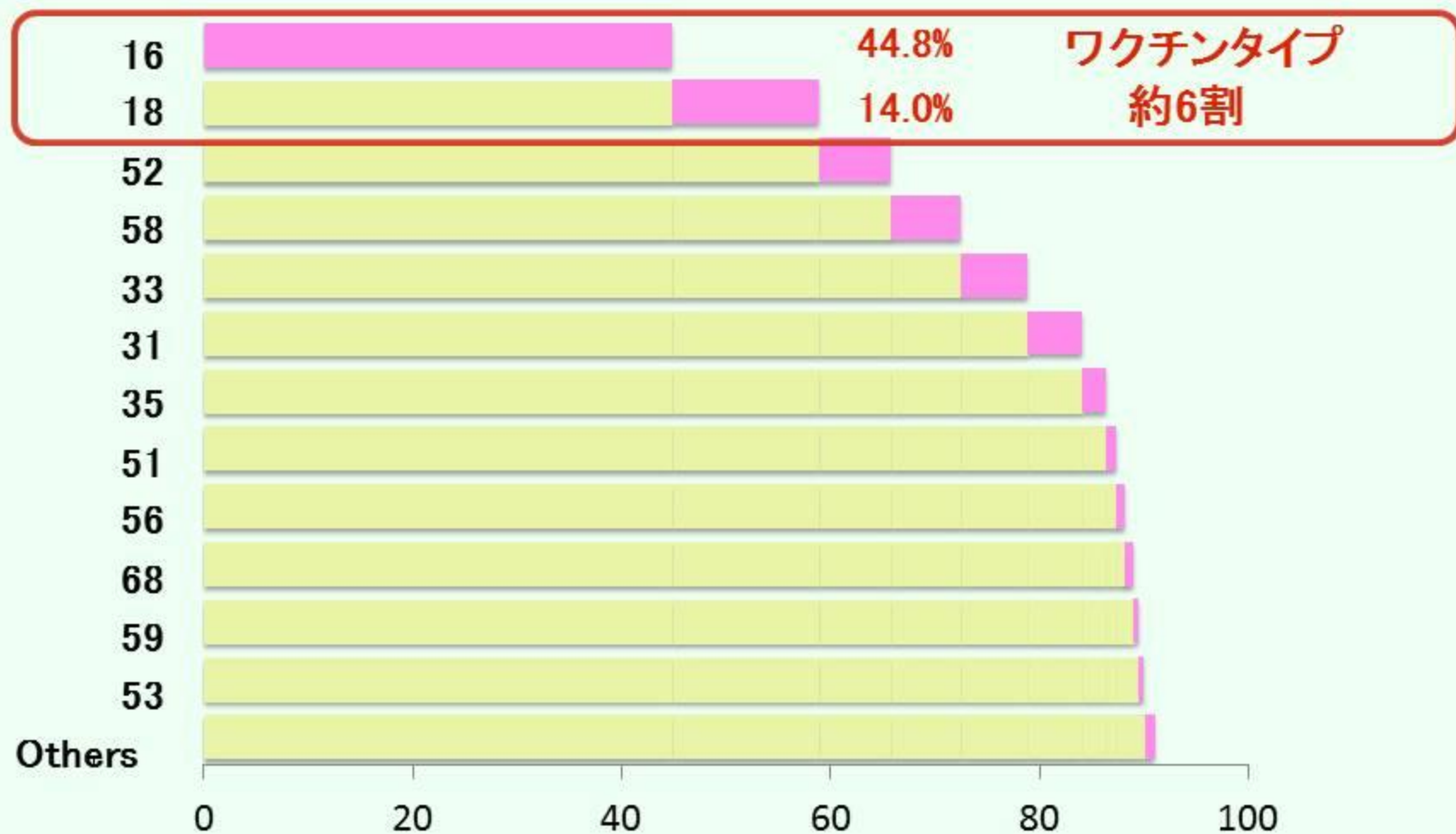
子宮頸部異形成(前がん病変)は、ほぼ100%HPV陽性

HPV陽性者は、陰性者に比べ発癌の危険が158倍高い

HPV16型陽性者は、陰性者に比べ発癌の危険が約400倍高い

日本における子宮頸がんに関する HPVの型（高リスク型）

HPV遺伝子型



HPVに感染していたら、それはがん
になることを意味するの？

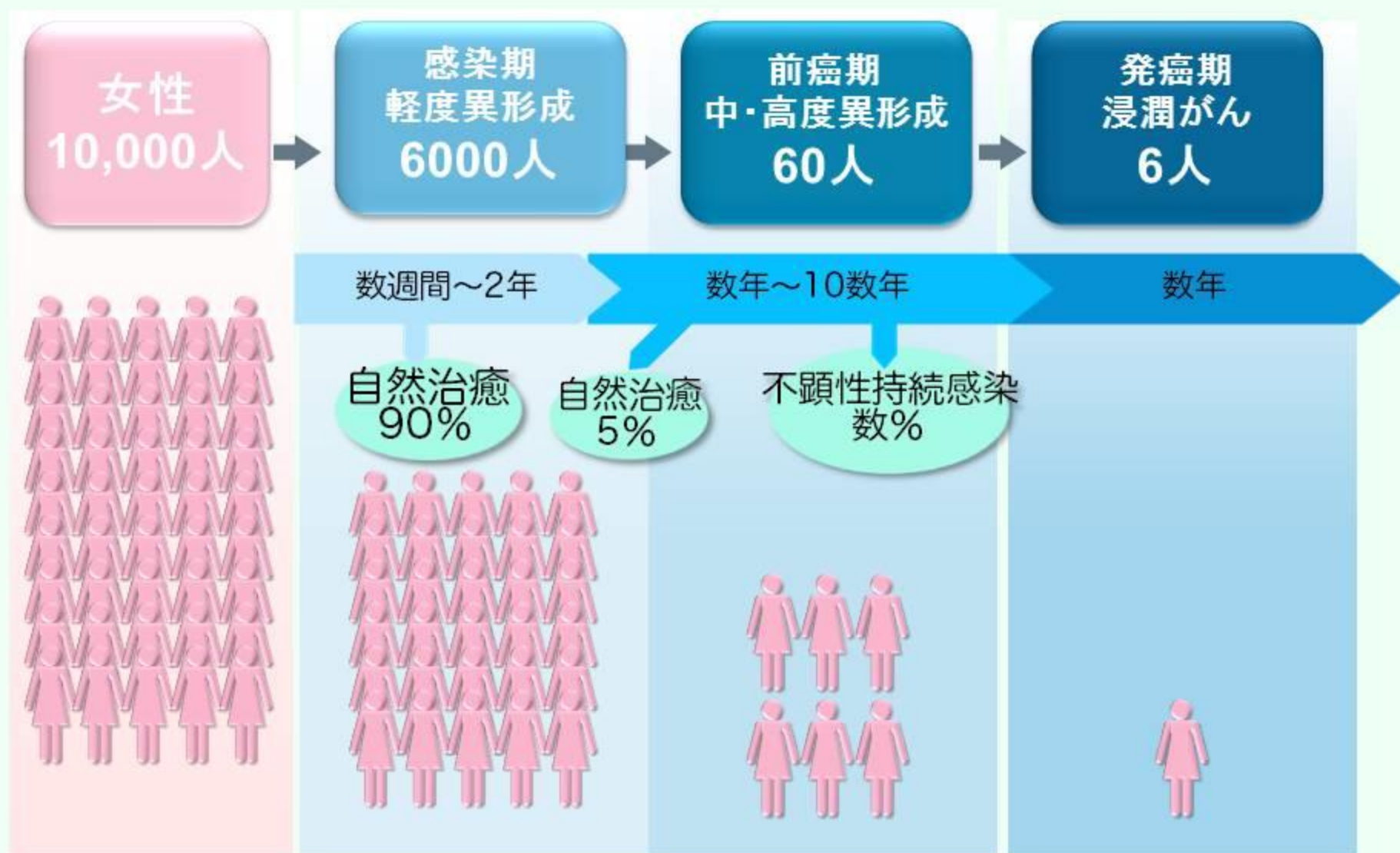
No

性経験があれば普通の生活でだれでも感染します

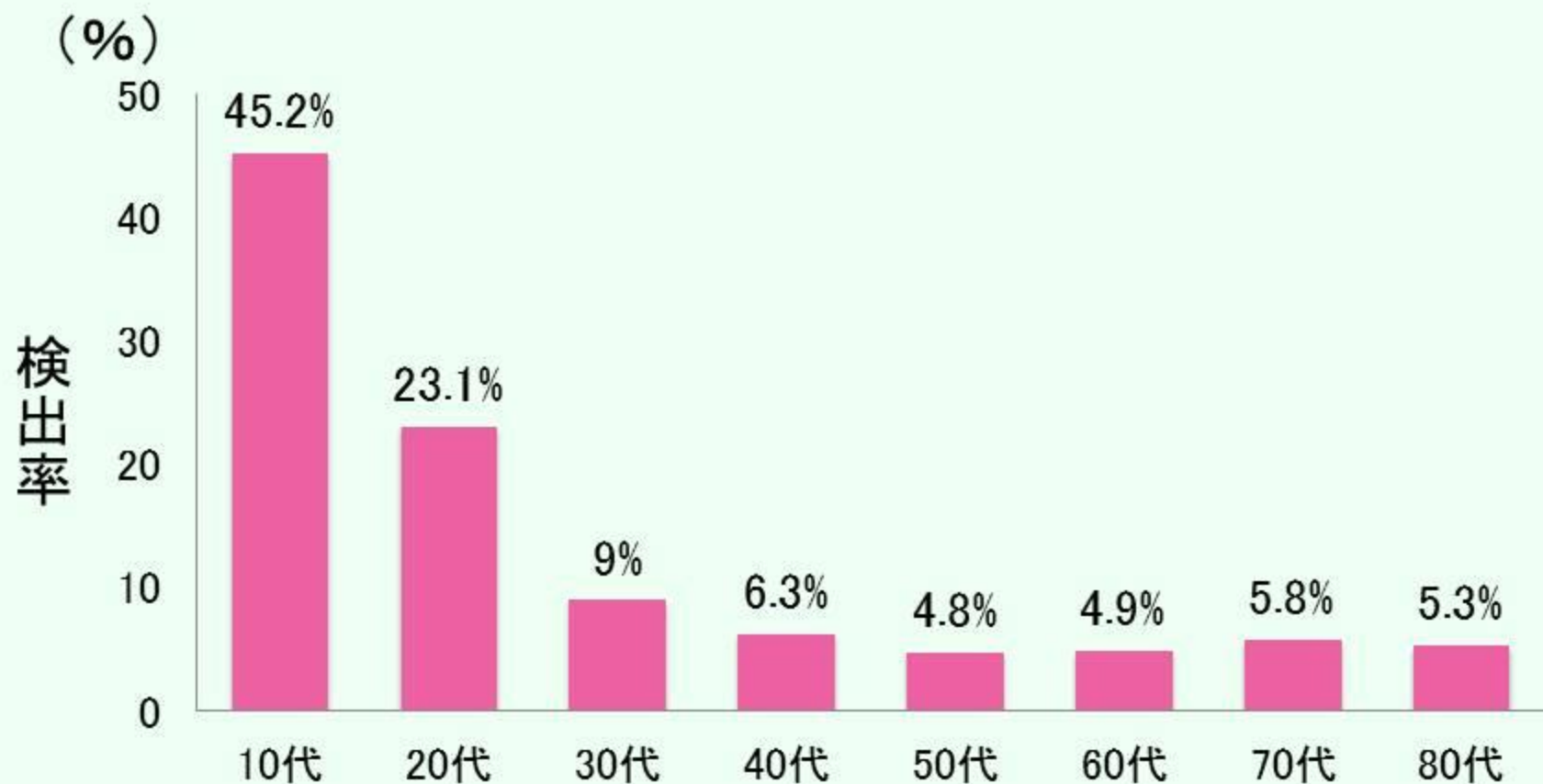
多くの場合は一過性の感染で消えてしまいます

一部の消えない人（持続感染）だけがリスクとなる

子宮頸部がんの発生頻度



子宮頸がん検診者における高リスク型 HPVの検出率



対象：2003年10月～2004年5月に石川県に在住した一般女性8,156例

子宮頸がんの予防

1次予防: ワクチンによる発症予防

2次予防: 検診による早期発見

子宮がん検診

老人保険事業に基づく、地域住民検診として
20歳以上2年毎に行うこと推奨（2004/4に改
正）

住民検診： 20歳以上2年ごと
(千葉市) クーポン券 20,25,30,35,40歳

職場検診： 子宮頸がん検診は希望？

人間ドック： 自費

子宮がん検診の実際

細胞診：子宮頸部の細胞を採取して顕微鏡でみる

検出感度は86.0%

HPV検査：ウイルスに感染していないかをみる

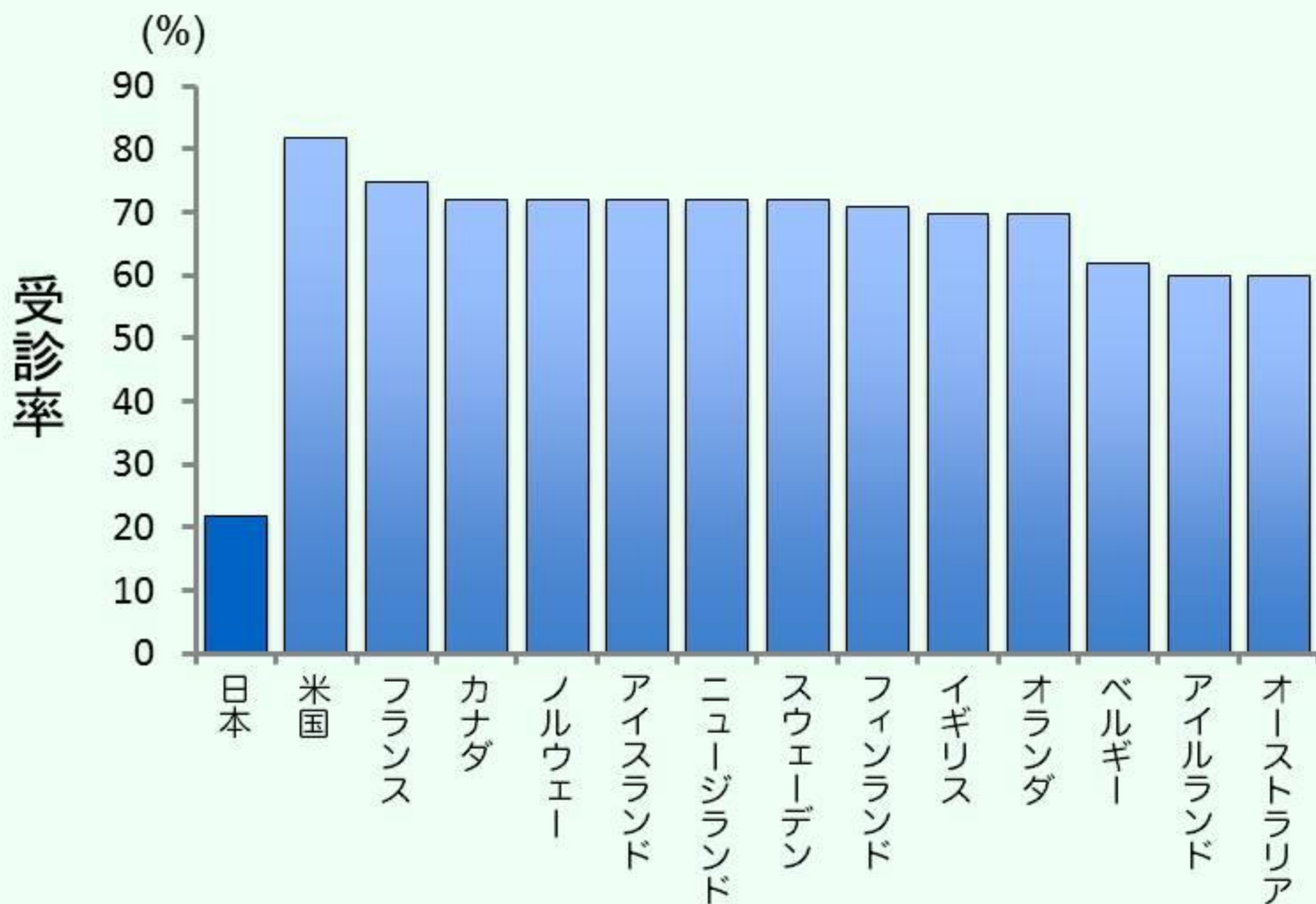
検出感度は94.0%

欧米ではすでに検診に導入

日本でも導入している市町村あり

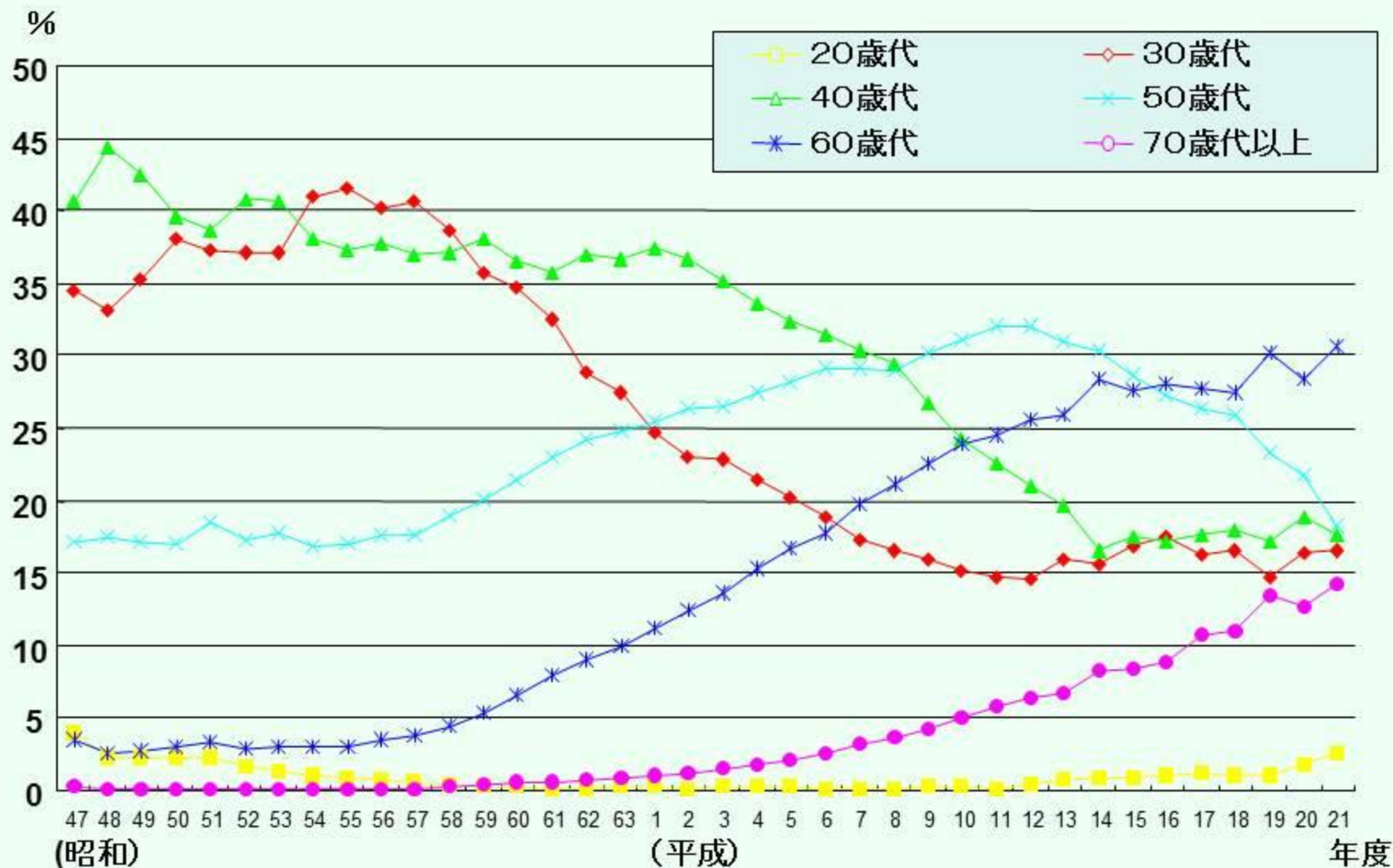
両者を併用で、ほぼ100%前がん病変を発見できる

先進国の子宮がん検診受診率



子宮がん検診受診者数の推移

ちば県民保健予防財団（旧対がん協会）



子宮頸がん予防ワクチン

4価ワクチン：HPV 6, 11, 16, 18型

2価ワクチン：HPV 16, 18型

2013年4月より 定期接種化

子宮頸がん予防ワクチンの接種を受ける皆さまへ (平成25年6月版)

現在、子宮頸^{けい}がん予防ワクチンの接種を
積極的にはお勧めしていません。

接種に当たっては、**有効性**と**リスク**を
理解した上で受けてください。

ワクチンにより前がん病変が減少

オーストラリアでのワクチンプログラム



性経験前にワクチン投与した場合

ワクチンタイプ 16・18型に関連した前がん病変減少

検診とワクチンによる 子宮頸がんの予防効果

		予防できる頸がん (%)		
		ワクチン接種率		
		85%	50%	10%
検診受診率	85%	95	91	86
	50%	82	69	54
	10%	67	44	17
	0%	64	38	8

子宮頸がんワクチンの副作用

比較的軽度の副作用は、一定の頻度で起こります

注射部位のかゆみ・痛み・腫れ

筋の痛み

関節痛

頭痛

失神（接種時の痛み・恐怖から）

子宮頸がんワクチンの重篤な副作用

病気の名前	主な症状	報告頻度
アナフィラキシー	呼吸困難・蕁麻疹	約96万回接種に1回
ギラン・バレー症候群	四肢の筋力低下 重症では呼吸困難	約430万接種に1回
急性散在性脳脊髄炎 (ADEM)	頭痛、嘔吐、意識低下 歩行困難、目がみえにくい	約430万接種に1回
複合性局所疼痛症候群	持続的な痛みを訴える 外傷、骨折、注射針等の刺激がきっかけになって発症	140万接種に1回 (2価) 60万接種に1回 (4価)
広範囲な疼痛		14万接種に1回

ワクチン接種後の痛みの治療

————→ 難治性神経因性疼痛の原因・治療に関する研究班

効果と危険性を理解した上で ワクチン接種をしてください

	子宮頸がん	慢性疼痛 (複合性局所疼痛症候群 など)
原因	HPV感染	原因不明 骨折・捻挫・注射の針刺しなど 外傷をきっかけとして生じる
患者数 頻度	年10000~15000人 20代~30代の若年層に増加	HPV接種100万回に1人
予後	年間3000人ほど死亡	多くは症状は治る

子宮がんは予防できます

- ✓ 原因、リスクファクターが分かっている
 - Y 禁煙 喫煙者はすわない人より4倍リスクあり
- ✓ 前がん病変（異形成）が存在・・・早期発見が可能
- ✓ 有効な検査法(細胞診、HPV DNA検査) が確立している
- ✓ 予防ワクチンの登場

子宮がん検診とワクチンで
命と子宮をまもりましょう！